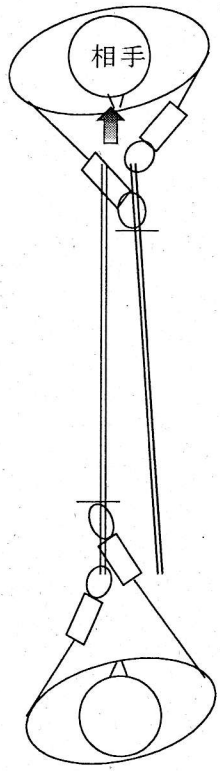
小手の打ち方



＜基本的な「小手」の打ち方＞

1　先ず攻めてから、打突するが狙いは「相手の中心」とする

2　始めに面を打つときと同じ目線、同じ体勢で身体を押し出し

3　相手の剣先が上がる（構えが乱れ、機会が生じる）ので

4　打突後は、素早く身体を相手側に寄せる（後打ちされない）

＜　注　意　点　＞

1　目の高さを変えないことが、「腰の水平移動」となる

2　左手は「下ではなく」「前に出し」「肘を伸ばして」打つ

3　上体を中心より左側（小手方向）に傾けない！

4　「小さく」「鋭く」「強く」打つ意識が必要！

仕掛け技の「小手」　～いずれも攻め込んで打つこと	
攻めて小手	相手の竹刀の上から小手を打つ（上図参照）
払い小手	相手の竹刀を右に「パチン」と払い上げ小手（面打ちも同じ要領）を打つ
捲き上げ小手	相手の竹刀を表から左（時計と逆）廻りに捲いて構えを崩し、そのまま打つ
かつぎ小手	相手の意表をついて、竹刀を大きく左肩にかつぎ、そのまま小手を打つ
「小手」打ちに対する応じ技　～　小手の打ち込みに対し「先の気」技を決める	
すり上げ面	竹刀の右側（裏）で刷り上げて面を打つ
すり上げ小手	左足から一歩左の方に体を開きながら、竹刀の右側（裏）で右斜め上に小さくすり上げ、右足を左足の方向に引きつけると同時に小手を打つ
返し面	剣先を開きながら下げ、竹刀の左側（表）で応じ、直ちに返して面を打つ
返し小手	剣先を開きながら下げ、竹刀の左側（表）で応じ、直ちに返して面を打つ
相打ち面	同時に相手の小手を打ち、直ちに面を打つ
抜き面	一歩後方に退きながら、振りかぶって小手を抜き、前に出て面を打つ
打ち落とし面	相手の竹刀を、右斜め下に打ち落とし、直ちに面を打つ

◎　突きすり上げ面（表・裏）、面返し面（胴、小手）、胴打ち落とし面、面すり上げetc・・・